エコアクション21
認証・登録番号0003047

株式会社髙橋工作所

2010年度　環境活動レポート

認証・登録番号0003047　　対象期間：2010年8月～2011年7月

TAKAHASHI

発行 2011年10月29日
次回環境活動レポート発行 2012年10月予定

□ごあいさつ（環境保全活動に向けて）

　昨今、温室効果ガスの削減、地球温暖化対策等の環境問題がクローズアップされている中、『一企業として何かをすることが出来ないか』と思い、今回”エコアクション21”という環境マネージメントシステムの活動を通して、全社一丸となって環境保全活動の取り組みを始めることにしました。

　私たち人間は、この宇宙大自然の恵みを充分に受け取りながら、感謝の気持ちを持って環境保全活動を行い、次の子供たちの世代に、このすばらしいかけがえのない地球を守り、受け継いで行くことに、微力ながら努めて
　私たち人間は、この宇宙大自然の恵みを充分に受け取り

環 境 方 針

１、私たちは事業活動を通じて、地球環境を汚すことなく、かつ宇宙大自然から授かった地球環境を守る活動を行ってゆきます。

２、私たちは、ＣＯ２排出量削減のための省エネルギー対策、廃棄物の排出量削減のためのリサイクル対策、総排水量削減のための節水対策、化学物質使用量の削減、ｸﾞﾘｰﾝ購入、自らが生産・販売・提供する製品及びｻｰﾋﾞｽに全社が取り組んでゆきます。

３、私たちは地球環境を念頭においた環境経営システムに取り組み、かつ断続的に改善してゆくことにより、企業としての社会的責任（ＣＳＲ）をはたしてゆきます。

4、 事業の実施に際して環境関連法規及び規制等を順守します。

5、 この環境方針は全従業員に周知します。

制定：２０１１年　４月　１日
代表取締役
高橋　一博

□登録事業所の概要

（1）事業者名及び代表者名
株式会社髙橋工作所
代表取締役　髙橋　一博

（2）所在地
本社：〒578-0921　大阪府東大阪市水走2丁目4番3号

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者　：日高　伸治
環境管理事務局　：長野　優子
連絡先　TEL:072-961-3686　FAX:072-963-4375
E-mail　info@takahashi-inc.com
URL　http://www.takahashi-inc.com

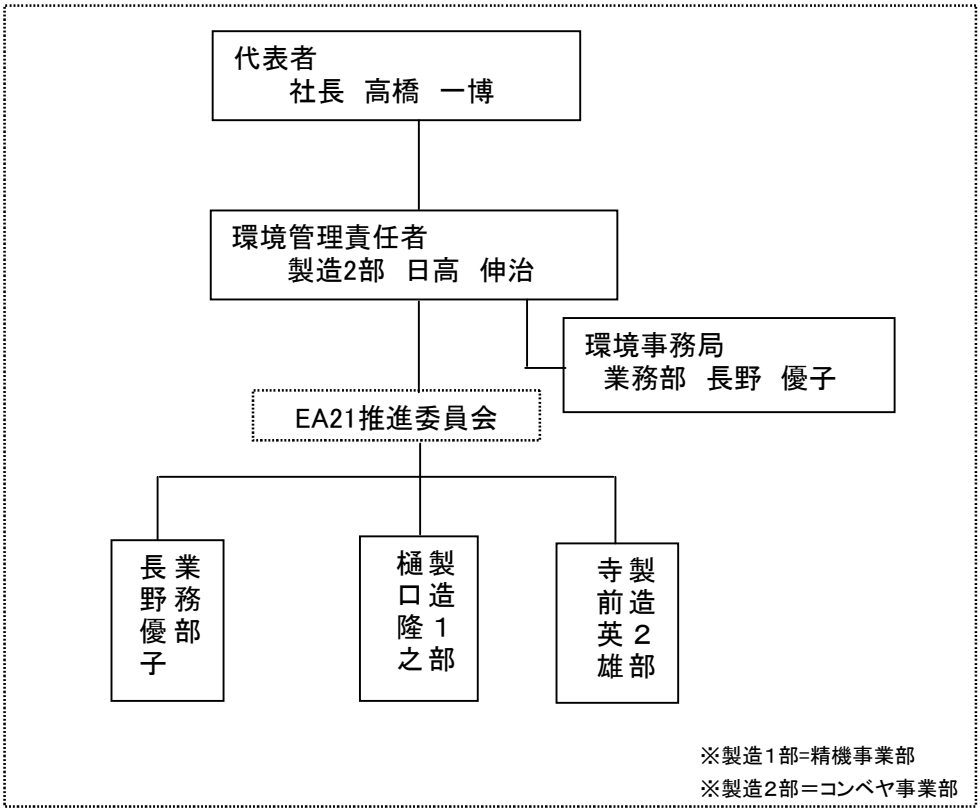
（4）事業内容及（認証・登録の範囲）
各事業部名：精機事業部（製造1部）
：コンベヤ事業部（製造2部）
事業内容及認証・登録の範囲：
各種コンベヤ・搬送システム及び精密切削加工部品・工業用ミシン部品の製造・販売

（5）事業の規模
従業員　25名（10年7月現在）
延べ床面積　2,732㎡
製品出荷額　2．4億円
主要製品生産量　鉄：15トン、銅：3トン、アルミ：6トン、ステンレス：1トン
主要生産品

【精機事業部】

【コンベヤ事業部】

（6）実施体制


代表者
社長　高橋　一博
環境管理責任者
製造2部　日高　伸治
環境事務局
業務部　長野　優子
EA21推進委員会
業務部
長野優子
製造1部
樋口隆之
製造2部
寺前英雄
※製造1部=精機事業部
※製造2部＝コンベヤ事業部

（7）事業年度　8月～7月

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2009年（基準年度）	2010年
二酸化炭素総排出量　（以下内訳）	kg-CO_2／年	50,892	65,123
（電　力）	kg-CO2／年	37,238	49,589
（灯　油）	kg-CO2／年	4,485	6,479
（ガソリン）	kg-CO2／年	8,284	8,620
（軽　油）	kg-CO2／年	667	367
（プロパンガス）	kg-CO2／年	218	68

＊購入電力排出係数：　0.378kg-CO2/kWh

一般廃棄物量排出量	トン／年	2.30	2.50
産業廃棄物排出量　（以下内訳）	トン／年	2.50	7.44
（廃　油）	トン／年	0.54	0.40
（金属くず）	トン／年	2.45	5.34
（ダンボール）	トン／年	―	1.70
（廃プラ）	トン／年	0.05	0.00

総排水量	㎥／年	779	705

□環境目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		2009年（基準年度）	2010年（目標）	2010年（実績）
売上高	売上高　百万円	158	―	240
社員数		21		25
二酸化炭素排出量削減	購入電力kwh	51,724	51,207	65,660
	Kg-CO2／百万円	327	-	274
	基準年度比	―	△1%	△16%
産業廃棄物の削減	総排出量(t)	2.90	2.87	7.44
	t／百万円	0.02	-	0.03
	基準年度比	―	△1%	△73%
化学物質使用の削減	総使用量(kg)	448	444	760
	kg／百万円	2.84	-	3.17
	基準年度比	―	△1%	12%
節水	総使用量(㎥)	972	962	779
	㎥／社員数	46.29	-	31.16
	基準年度比	―	△1%	△33%
グリーン購入	購入品目	―	1品種	1品種

□環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評　価（結果と今後の方向）
二酸化炭素排出量の削減 ・冷房27℃ 暖房21℃ ・節電運動展開 ・不要照明の消灯 ・工程ロス削減による稼働時間短縮 ・冷房27℃ 暖房21℃ ・節電シール ・エコドライブの推進	基 準 年 目標 実績	51,724 51,207 65,123	kg-CO2 99% 126%	・目標未達成 コンプレッサーの故障、誤動作による電力量増加があったこと、そして昨年度に比べ、仕事量（1．5倍）増加に因るものと思われる増加での未達成。問題は無かったと思われる。 ただ、今後とも小さなことから削減に努める。
産業廃棄物の削減 ・廃油 ・廃材（金属くず） ・ダンボール（今期より追記）	基 準 年 目標 実績	2.90 2.87 7.44	トン 99% 257%	・目標未達成 ダンボール排出分が増えたため、目標達成は不明。来期から新たにデータを取り直し、削減に努めていく。
化学物質使用の削減 （今期より実施）	基 準 年 目標 実績	448 444 760	㎥ 99% 170%	・目標未達成 社内整備（工場内床塗装）や、急激な仕事量（塗装）の増加により、目標は達成出来なかった。来年度は仕事量をふまえた目標を設定する。
節水 ・節水呼びかけ ・節水シール	基 準 年 目標 実績	972 962 779	㎥ 99% 80%	・目標達成 水冷式のクーラーの使用頻度が高かった為か、夏場はやはり使用量増加。 熱中症対策も有るが、気をつけていこうと思う。
グリーン購入 （今期より実施）	基 準 年 目標 実績	0 1 1	品種 品種 品種	・目標達成 まずは手始めに一番よく使用するコピー用紙か 来年度も新たにグリーン購入を増やす。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	順守状	適用される施設等
廃棄物処理法	○	一般廃棄物、廃油
騒音規制法	△	空気圧縮機
振動規制法	△	空気圧縮機
下水道法	○	下水道
水質汚濁防止法	○	灯油保管庫
家電リサイクル法	○	エアコン、冷蔵庫等
資源有効利用促進法	○	パソコン
自動車リサイクル法	○	自動車
高圧ガス保安法	○	1メガパスカル以上の高圧ガス
東大阪市環境保全条例	△	指定工場等設置許可申請

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、東大阪市環境保全条例に基づく、指定工場設置許可申請は現在保留中。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

□代表者による全体評価と見直しの結果

労働時間の絶対量の増加は電力量の増加に繋がっているのは、致し方ありませんが、人がいない場所、不必要なところでの照明の点灯が目立ったので、尚一層節電を徹底してください。
KAIZEN活動のムダ・ムラ・ムリの排除がEA21へと繋がっていきますので、まずは電力のムダ、照明のムダ、作りすぎのムダなどのもったいない運動を展開して下さい

環境配慮製品

今年、弊社から持ち運んで使えるアルミ製のローラコンベヤを発売を開始しました。

何台も購入することなく、使いたい場所へ持っていく事が出来るとして東北支援の
ボランティア団体様より依頼があり、折りたたみコンベヤ”たためRUN（るん）”を寄贈致しました。

現地で土砂を運び出す作業などに活躍したとのことです。

□'10年度　とりくみ

環境整備：工場内整備

コンクリートの打ちっ放しだった工場の床にペンキを塗りました。

床にしみこむままだった油分などをモップで清掃することもでき、また　小さな部品なども見つけやすくなりました。

環境設備：危険物保管庫

左）灯油保管庫　今まで火気厳禁の札を上げていなかったところ、注意書きをつけました

右）シンナー保管庫　今までオープンな棚に並べるだけだったところ、鍵がつけられる棚に保管し、

また、火気厳禁の札をとりつけました

環境整備：毎朝、全社員での仕事場、事務所前の一般道路の清掃をやりました。

：前年度より引き続き、ゴミの分別を行いました。

作業場改善：前年度より引き続き、QCサークルにて作業環境の改善に取り組みました。

外部コミュニケーション：前年度より引き続き、サンクスカードにて外部の方々からの声を全社員共有する取組をしました。